

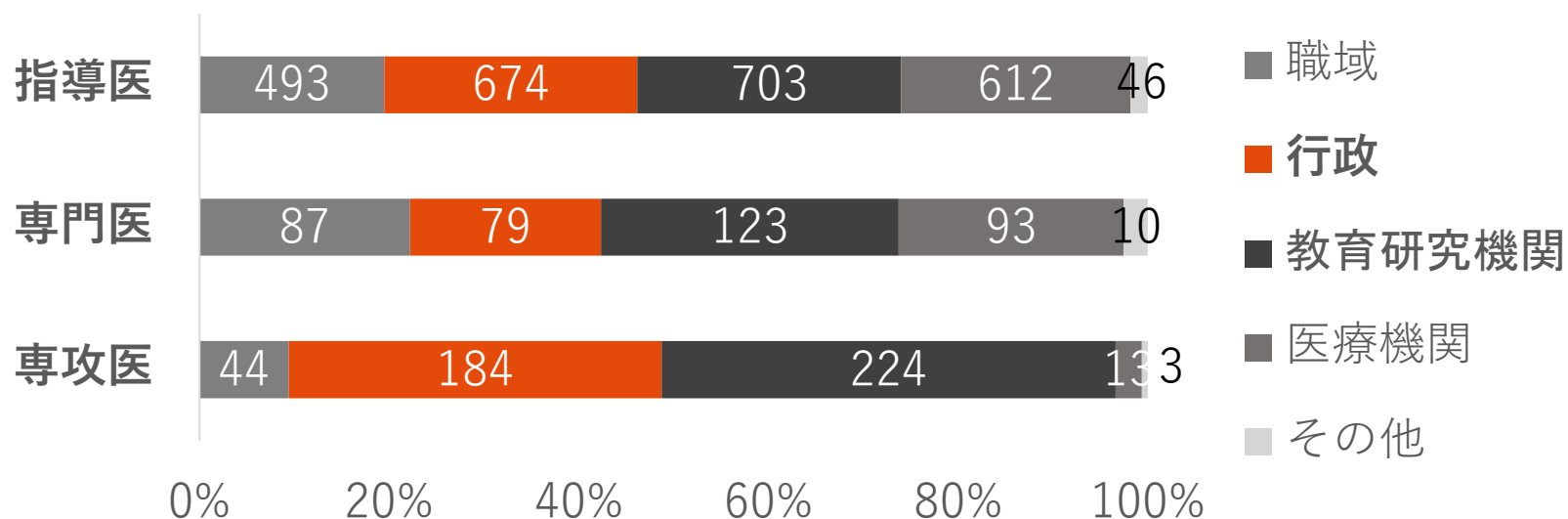
社会医学系専門医指導医講習会

2024.1.22 11:00-12:00

- ①専門医、指導医になるメリットって何？
- ②指導に役立つ情報提供
- ③香川県での指導の現状

指導医、専門医、専攻医の登録状況について

- 2023年7月現在の登録数 3,388名
(指導医2,528名、専門医392名、専攻医468名)



指導医及び専門医の更新状況（2022年度の実績）

鍵となる学会名	対象者			更新の状況(2023.3.13時点)							
				更新申請				延長	辞退	未反応	合計
	合計	指導医	専門医	申請件数	(割合)	更新可能	保留				
日本衛生学会	39	37	2	16	(41%)	16	0	4	1	18	39
日本医療情報学会	59	46	13	26	(44%)	26	0	8	1	24	59
日本産業衛生学会	356	290	66	176	(49%)	174	2	58	2	120	356
日本疫学会	79	62	17	34	(43%)	33	1	21	1	23	79
日本公衆衛生学会	521	474	47	217	(42%)	214	3	109	6	189	521
日本災害医学会	221	173	48	82	(37%)	81	1	35	6	98	221
日本医療・病院管理学会	50	46	4	15	(30%)	15	0	14	1	20	50
日本職業・災害医学会	155	127	28	58	(37%)	55	3	9	0	88	155
不明	1	1	0	1	(100%)	1	0	0	0	0	1
合計	1,481	1,256	225	625	(42%)	615	10	258	18	580	1,481



更新の状況(2023.6.9時点)								
申請件数	(割合)	更新可能	保留	延長	辞退	未反応	活動休止	合計
633	(43%)	629	4	410	101	336	1	1,481

30%

① 専門医、指導医になるメリットって何？

専門医・指導医の資格を取得するメリットは以下の通りです：

1.専門性の向上：専門医・指導医の資格を取得することで、自身の専門分野における知識や技術を深めることができます。これにより、患者への適切な診断や治療を提供する能力が向上します。

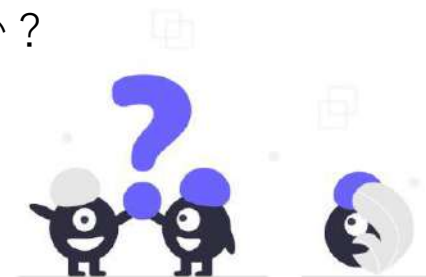
系統立てて自分の専門分野を学ぶ機会



専門医の質の確保

専門医取得という目標なしに、全般的に学べる人はどれだけいるだろうか？

どうしても経験する事例は勤務する部署によって偏ってしまうため、専門分野を広く学ぶためにはある程度の指標と目標が必要だろう



① 専門医、指導医になるメリットって何？

専門医・指導医の資格を取得するメリットは以下の通りです：

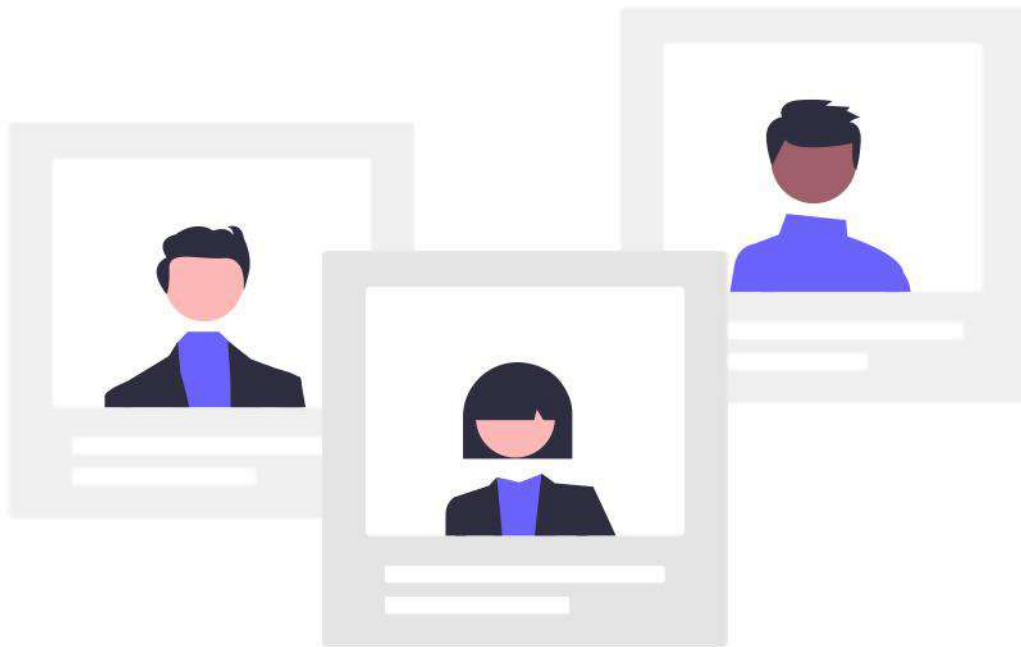
2. 職業的な信頼性の向上：専門医・指導医の資格は、公衆衛生医師としての信頼性を高めることができます。患者や同僚からの信頼を得ることができ、キャリアの発展や機会の拡大につながる可能性があります。



① 専門医、指導医になるメリットって何？

専門医・指導医の資格を取得するメリットは以下の通りです：

3. 人材の確保：指導医の存在は専門研修プログラムの重要な要件です。指導医がいることで、若い医師は適切な指導やアドバイスを受けることができ、専門分野でのスキルや知識を習得する機会が増えます。これにより、若者はプログラムに魅力を感じて入職しやすくなります。



① 専門医、指導医になるデメリットって何？

一方、専門医・指導医の資格を取得することには以下のようなデメリットも考えられます：

1. 高い負荷：専門医・指導医の資格を取得するためには、追加の勉強や研修が必要です。

これにより、時間や労力の負荷が増える可能性があります。また、専門分野の進歩や変化に追従するためには、継続的な学習や研究が必要となるため、時間や労力の負担が増えることも考えられます。

2. 経済的な負担：専門医・指導医の資格を取得するためには、試験や研修にかかる費用が必要です。これには、試験料や研修費用、参考書や教材の購入費用などが含まれます。これらの費用は、個々の医師によって異なるため、経済的な負担となる場合もあります。

① 専門医、指導医になる長期的なメリット

指導医の後継者が不在となると、専門分野の継続的な発展や教育の質の低下につながる可能性があります。指導医は、若手医師の指導や教育に携わることで、自身の専門性を維持・向上させることもできます。そのため、**指導医の存在は専門医制度や社会医学の発展にとっても重要**です。

経済的な負担や時間的な負担があるにもかかわらず、指導医の資格を取得することは、長期的な視点で見ればメリットがあると言えます。指導医の存在は、専門医制度の維持や社会医学の質の向上に貢献するだけでなく、自身のキャリアの発展や専門分野の発展にもつながるからです。

自分のため ▶ 後輩のため ▶ 社会のため



① 専門医、指導医になるメリットとデメリット 結びの言葉

ただし、専門医・指導医の資格を取得・更新することは**個々の医師にとっての選択**であり、経済的な負担や時間的な負担があることも事実です。

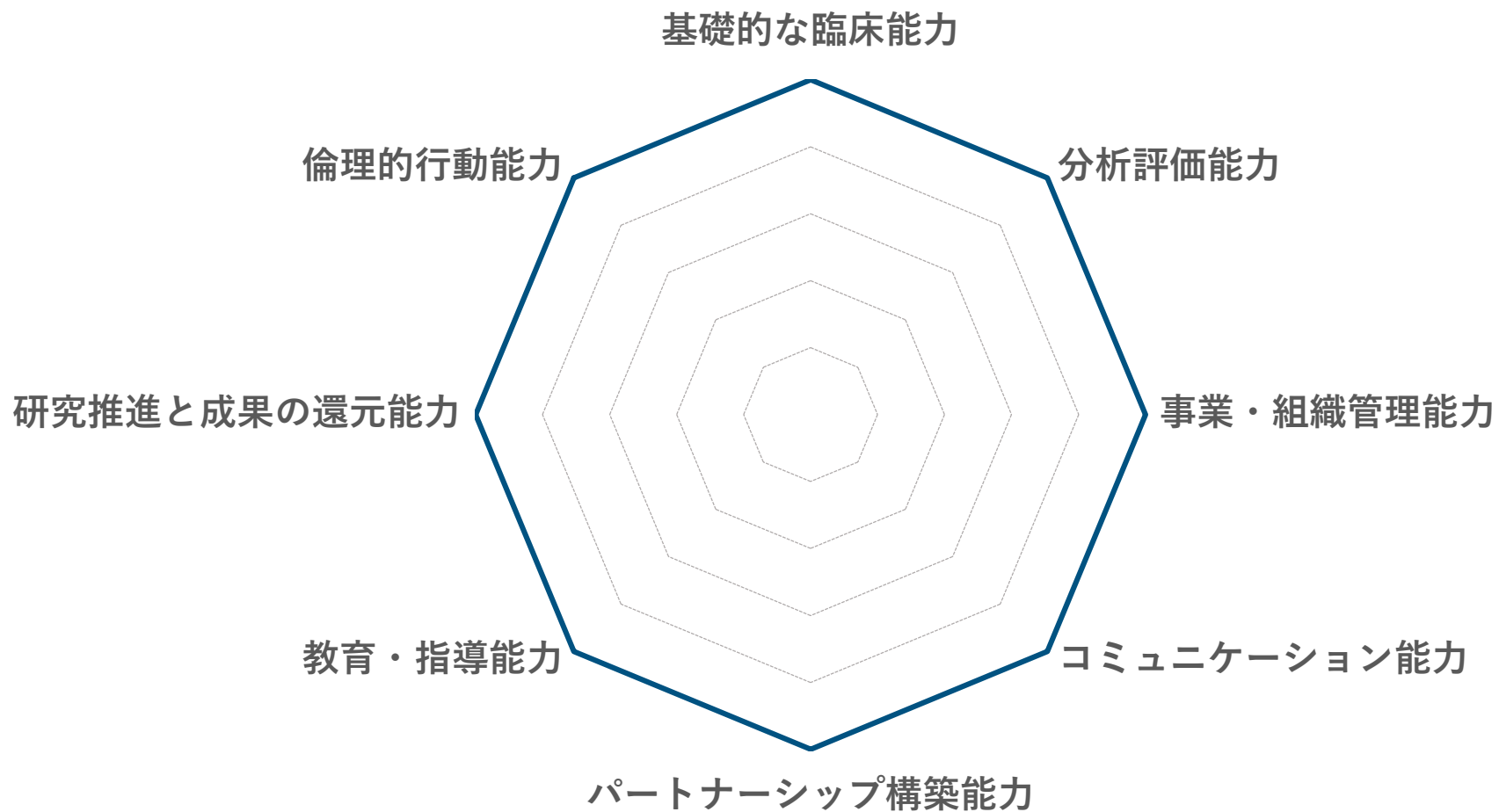
そのため、医師個人が自身の目標や状況を考慮し、メリットとデメリットをよく考えた上で判断する必要があります。



以上、ChatGPTに聞いてみた
専門医・指導医を取得するメリットとデメリットでした

次は指導医の役に立つ？
情報提供

② 指導に役立つ情報提供（8つのコンピテンシーをイメージする）



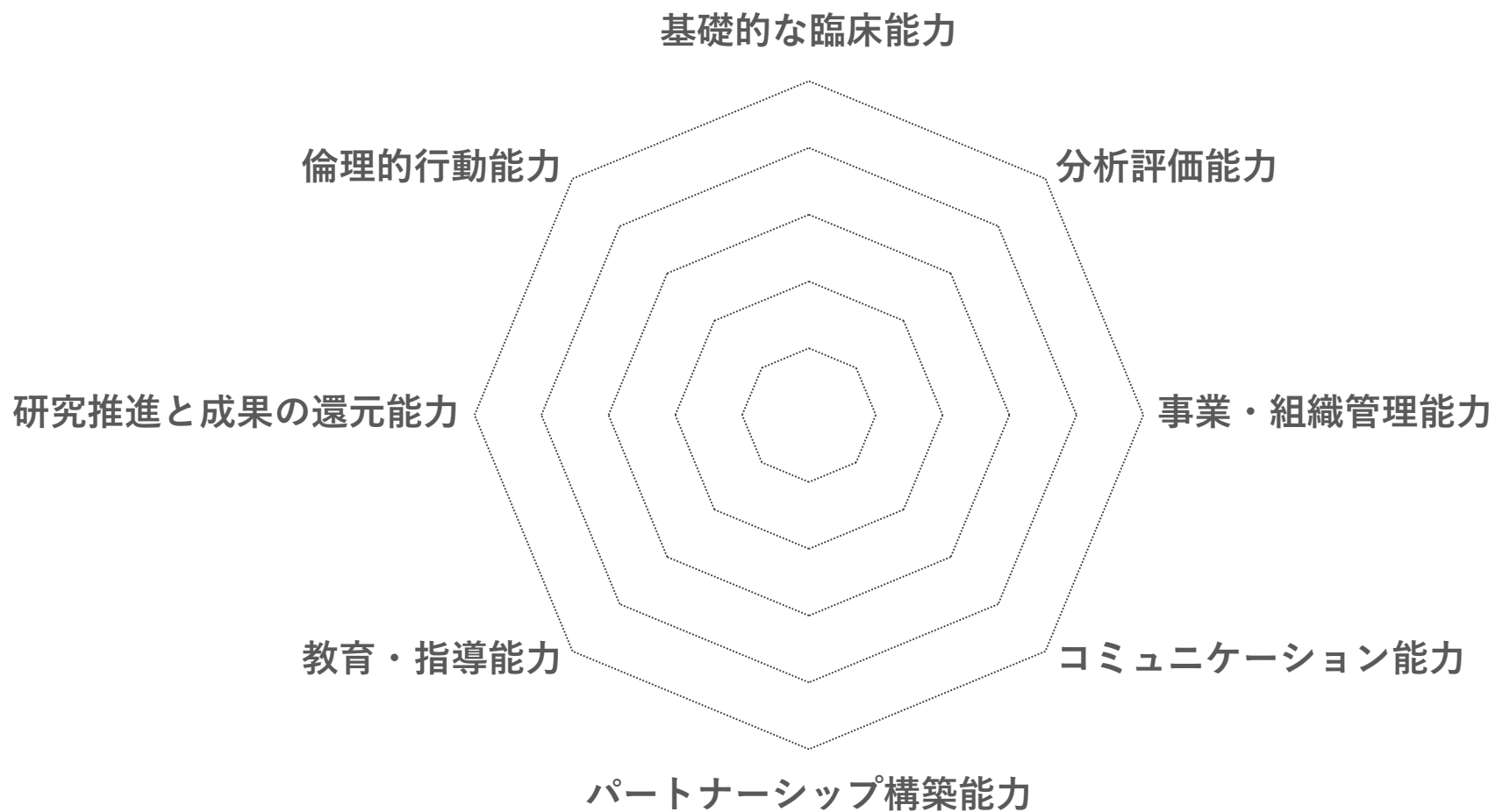
② 指導に役立つ情報提供（8つのコンピテンシーをイメージする）



② 指導に役立つ情報提供（8つのコンピテンシーをイメージする）



② 指導に役立つ情報提供（8つのコンピテンシーをイメージする）



② 指導に役立つ情報提供（試験対策や研修手帳について）

/ 公衆衛生医師チャンネル

専攻医体験談（児玉先生）①研修編

<https://youtu.be/LDqzyzbybG4>



専攻医体験談（児玉先生）②専門医試験編

<https://youtu.be/ybe9DMoaVVw>



専攻医体験談（鈴木先生）研修＋試験編

<https://youtu.be/DeUwITPRh4I>



② 指導に役立つ情報提供（試験対策や研修手帳について）

研修手帳の記入について（2019.12版）

社会医学系専門医協会TOP > 専門医制度 > 研修プログラム：研修プログラム概要（整備基準、申請、認定方法）

👉 経験した事例、学んだ内容が**具体的に**わかるように記載すると同時に
できるだけ**簡潔に**記載することが望まれます。

要領よく記載することも必要なスキルと考えられるためです。

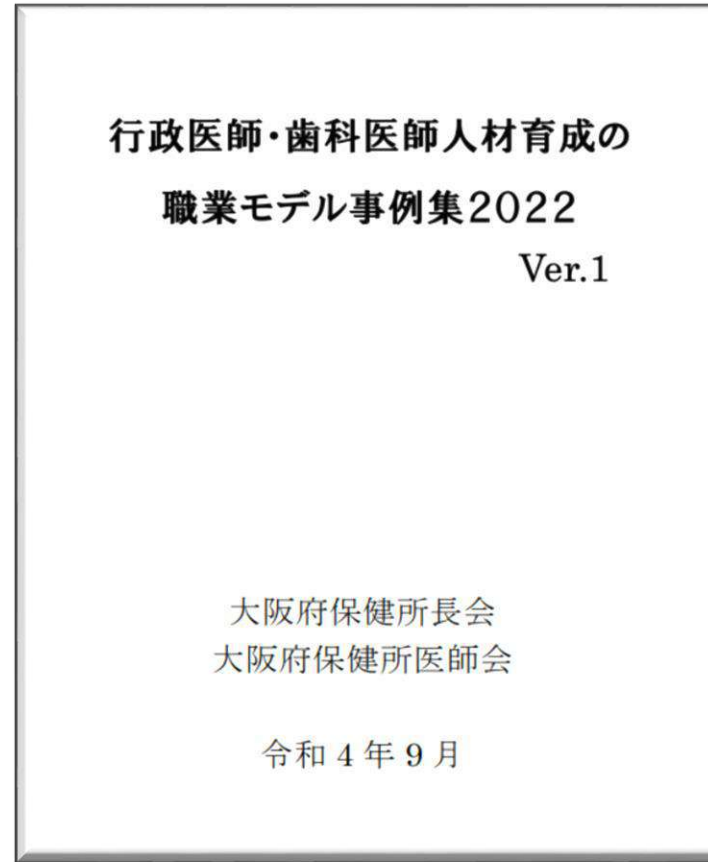
Good 👍

精神保健福祉法第 23 条通報による対応をおこなった。患者調査、家族調査、警察官からの聞き取りにより、精神症状によるものではないため、措置診察不要とした。受診勧奨（精神科主治医へ）おこなったが、応じなかった。	経験した事例が簡潔に記載されている。
地域の住民に対する市民公開講座”「〇〇〇〇」はどうしたいですか”の実施（約 2 時間程度）。参加者は 20 名程度で、50-70 歳代であった。私自身はメインスピーカーとして、アドバンスケアプランニングの紹介と、もしバナカードを用いて具体的な将来的な医療やケアに対する希望を共に考える機会の提供を行った。	提案内容と活動が具体的に記載されている。
管内で細菌性赤痢が幼稚園で発生した。積極的疫学調査を行い、園児 4 名、教諭 1 名の感染を確認した。聞き取り調査および薬剤耐性調査からモロッコからの輸入感染が幼稚園内で接触感染により広がったものと推定するに至った。あわせて、感染者および接触者の調査を行い、平成 31 年 1 月に収束を確認した。	業務において経験した事例が具体的に記載されている。

Bad 👎

オン・ザ・ジョブ・トレーニング	経験した事例が不明。
感染症対応（新型インフルエンザ、肝炎、予防接種、感染症指定医療機関、1～5 類感染症）に関する医学的助言等	事例における役割、学んだことが不明。
口頭・文書により組織の内外と適切で潤滑な意思疎通を図る。 職業上の倫理規範を遵守している。	原則の記載であり、経験した事例が不明。
・基本的な疫学知識の習得 ・所管する業務に関連した疫学的評価 ・学会等で業務に関連した演題の発表	項目を列挙しているが、具体的にないため事例が不明。
抄読会などで疫学論文を扱い、使われている統計手法や対象などは適切かどうかを検討したり、自分の論文について、統計学を使って分析を行ったりした。	具体的にないため事例の内容が不明。

② 指導に役立つ情報提供（専攻医勉強会に使える資料）



http://www.phcd.jp/02/j_seminar/pdf/JN_PHSS_2022_file01-2.pdf

公衆衛生医師業務と
コンピテンシーを学ぶ
ケーススタディ集



Currently editing

② 指導に役立つ情報提供（専攻医勉強会に使える資料）

【様式】0714版(仮).docx

事例1（暫定）

中学生のヘリコバクター検査を自治体検診で実施するべきか、医学的見地から判断、対案を示した事例

主人公のプロフィール：初期研修⇒研究（公衆衛生等）⇒行政、30歳代
 大学院で公衆衛生の研究をして、修了後にA県に入職。健康福祉部健康推進課に配属されたばかり。

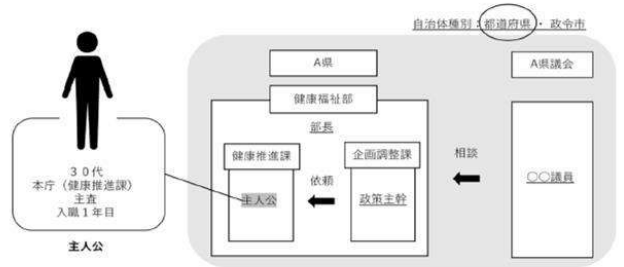
事例の分野：06健康づくり対策
 コア・コンピテンシー：2分析評価能力、7研究推進と成果の還元能力

キーワード：議会、議員への対応、文献検索

 ある日、A県の健康福祉部企画調整課の政策主幹(事務職)から、健康推進課の主査として働く主人公に以下のような相談、依頼があった。
 政策主幹：県議会議員の〇〇さんから次の議会でこんな質問をしたいと考えていると情報が入ったのだけど…。
 主人公：どういったことですか？
 政策主幹：「うちの選挙区のお医者さんで参議院議員をしている先生が書いた本にもやったほうがいいと書いてあるので、胃がん対策として他の自治体で実施している中学生対象のヘリコバクターピロリの検診を自分たちの自治体でもやるべきではないか」という内容なのだが、本県でも実施するべきかどうかも含めて根拠を示して部次長と県議会議員に説明してほしい。
 主人公：承知しました。こちらで考えてみます。

Q：あなたなら、どのように医学の専門家ではない事務職の上司と県議会議員に説明をする？

組織図・関係図



【様式】0714版(仮).docx

主人公の取った対応

ヘリコバクター学会の主張する中学生でのスクリーニング検査の流れと現在の中学生の保菌率について文献検索を行い、検査の感度・特異度・保菌率から中学生全員に行った場合に、スクリーニングによって真の保菌者を除菌治療まで導ける率と偽陽性者への不必要な介入につながる率を算出し、現在の日本で中学生全員を対象としたスクリーニング検査を行うことは推奨されないことを分かりやすく数字で示した。また、小児科医の「小児科領域でもスクリーニング検査を全員に行うことが推奨されていない、親のピロリ菌感染や胃がんの既往歴のあるハイリスクの子どもが保険適応で除菌ができる高校生、大学生になってから検査を保険診療で行うべき」と記されている文献を示し、県で行うことがあるとすれば、そのことについての啓発をがん検診やがん教育の一環として行うことであろうと説明した。

A：
 1つだけの学会や医師の推奨を鵜呑みにせずに、複数の関連する学会の推奨や国内外の文献を幅広く批判的に読みながら、現時点で自分の自治体でどうするのがよいかを考えるべし。

参考文献

1. H. pylori 感染の診断と治療のガイドライン 2016 改訂版
<https://www.jsmr.jp/medical/journal/file/guideline2016.pdf>
2. 中学生ピロリ菌検査と除菌治療 自治体向けマニュアル
https://www.jsmr.jp/medical/committee/young/file/manual_220727.pdf
3. 小児期ヘリコバクター・ピロリ感染症の診療と管理ガイドライン 2018 (改訂 2 版)
https://www.jsphgan.org/images/helicobacter_guideline2018.pdf
4. ピロリ除菌治療 パフォーマンスガイド 第 3 版 第 3 章-4: 小児の除菌治療方法と対象疾患
<https://www.jmedj.co.jp/premium/hppg/data/0304/>

コラム (番号) 議員さんからの質問から、住民啓発のヒントをつかめ!

このケースだけでなく本庁に勤務している間は、臨床医が書いた健康法関連の書籍に影響を受けた議員さんから「これを住民に広めてはどうか」と質問されることが度々ある。臨床医の主張には集団に対して施策を行う場合の費用対効果や利益・不利益の考え方、地域の医療資源をふまえた実現可能性などが欠けていることもあるので、広く住民に対して適応したほうが良いものか、実行できるものかどうかは公衆衛生的な判断が必要である。ただし、議員さんは住民の代表であり、その声の後ろには保健福祉行政に対して同じような疑問や考えを抱いている住民さんが多数存在する可能性がある。1人の議員の質問と思わずに、丁寧に調べて分かりやすく説明しながら、住民啓発のヒントにしよう。そうした対応を重ねることで、将来、新聞やテレビなどの記者から説明を求められる立場になった時にも常に住民を意識した応答ができるようになるだろう。

なお、費用対効果については保健医療経済評価研究センター (<https://e2h.niph.go.jp/>) が参考になる。

② 指導に役立つ情報提供（専攻医の交流と学びの機会の提供）

社会医学系専門医研修プログラム 専攻医のための

WINTER SEMINAR

公衆衛生ウインターセミナー 2022



専攻医のあなたに、とっておきのセミナーをプレゼント。

2022年12月17日 土 13:30-16:30

オンラインセミナー

- 管内医療機関と保健所の協力体制の構築
- 専門医体談話と情報提供
- 専門医制度の誕生秘話

オンライン懇親会

セミナー後～17:00まで 仲間と語らう懇親会

申込締切 11月26日 土 先着30名

参加申込はこちら 

詳しくは [全国保健所長会](#) 検索

主催

全国保健所長会／日本公衆衛生協会
令和4年度厚生労働省地域保健総合推進事業
「公衆衛生医師の確保と育成に関する調査および実務活動」事業班
分担事業者 横山勝教（香川県東讃保健所）

問合せ

運営委員長 早川貴裕（新潟県保健福祉部医療政策課）
事務局 日本公衆衛生協会 若井・斉藤
〒160-0022 東京都新宿区新宿1-29-3
TEL: 03-3352-4284 FAX 03-3352-4505 E-mail: entry.phcd@gmail.com

社会医学系専門医研修プログラム

専攻医のための **公衆衛生**

ウインターセミナー 2023

課題を解決するには？ 「地域の実情」に応じて

さあ、考えよう。

2023 12.9 土 13:00-17:00

Term 1 講義 > グループワーク

- 社会医学系専門医研修の楽しみ方
地域独自の取り組みのアイデア
平本恵子氏（広島市南区役所厚生部）
- 専攻医に伝えたい日本の高齢者施設
医療と介護の連携をさらに進めるために
古元重和氏（厚生労働省老健局）

Term 2 講話

専攻医のみなさんへのメッセージ
国立保健医療科学院 曾根智史 院長

懇親会 オンライン懇親会

参加自由（17:00-17:30）

主催
全国保健所長会／日本公衆衛生協会
令和5年度 地域保健総合推進事業
「公衆衛生医師の確保と育成に関する調査および実践事業」事業班
分担事業者 横山勝教（香川県東讃保健所）

問合せ
Public Health Winter Seminar 2023 運営委員会
運営委員長 植田英也（大阪市健康局健康推進部）
事務局 日本公衆衛生協会 若井・斉藤
〒160-0022 東京都新宿区新宿1-29-3
TEL: 03-3352-4284 E-mail: entry.phcd@gmail.com

オンライン 参加申込 >>>>>> 

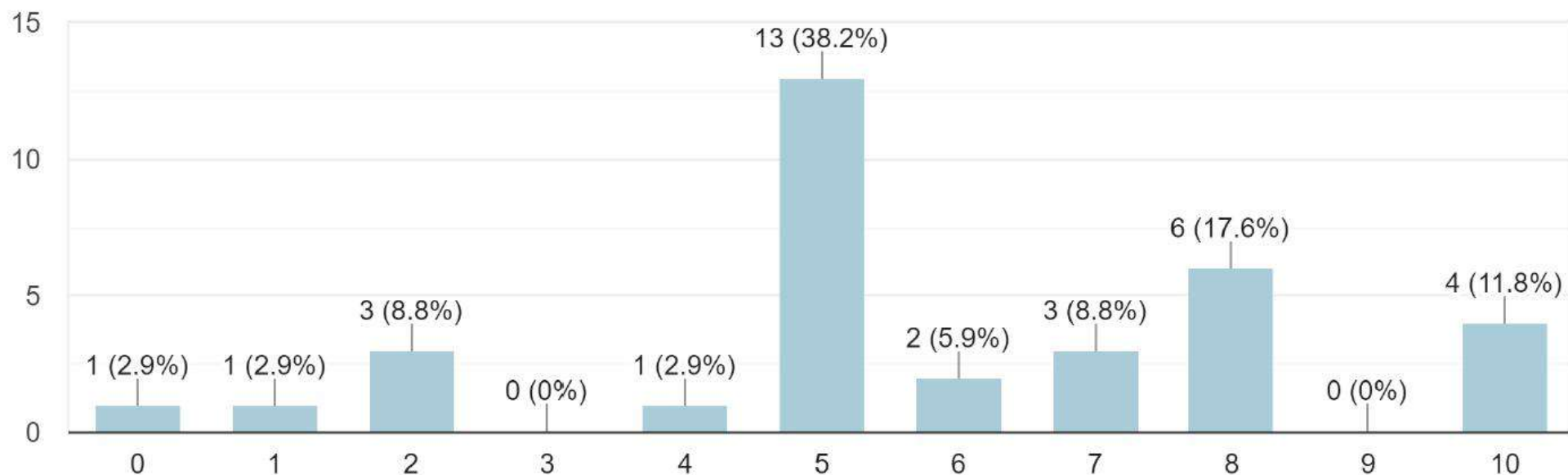
定員 40名 締切 11.24 金

詳しくは [全国保健所長会](#) 検索

セミナー前

知り合い・友人に、社会医学系専門医の取得をお勧めしますか？

34件の回答



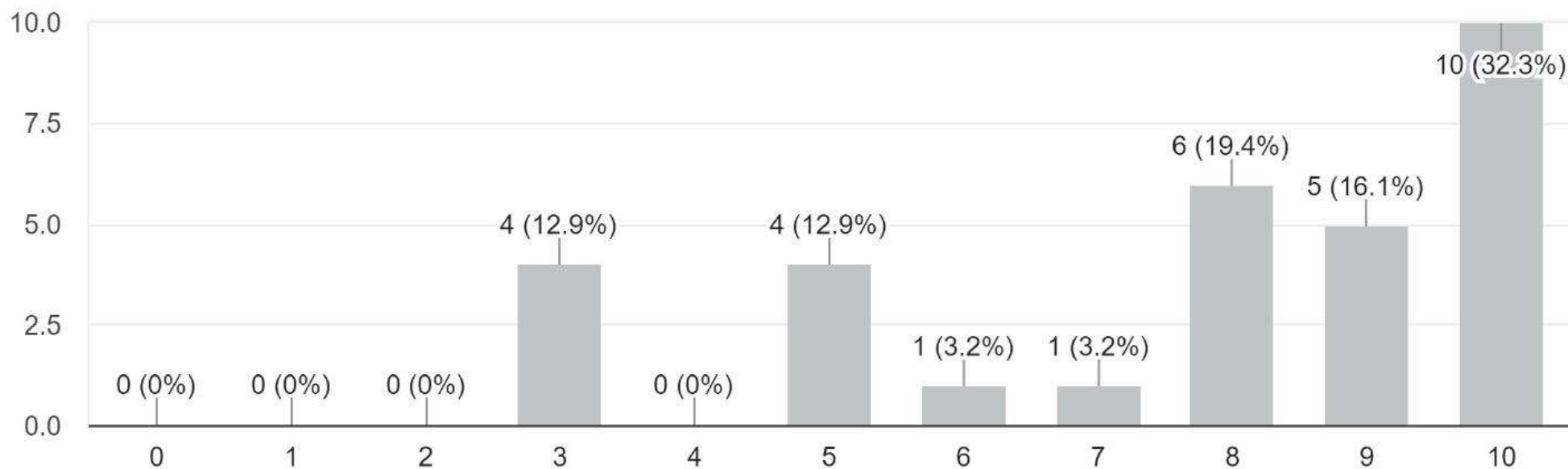
社会医学系専門医の取得を進めるか？ 5点（中央値） 5.8点（平均値）

（速報値）

セミナー後

知り合い・友人に、社会医学系専門医の取得を強くお勧めしますか？

31件の回答



社会医学系専門医の取得を進めるか？ 8点（中央値）7.7点（平均値）

（速報値）

**最後に、香川県での指導の現状を
お伝えいたします**

③ 香川県での指導の現状（専攻医・指導医の日々の連絡手段）

庁内チャットで指導医2名と専攻医3名、専攻予定者1名のグループを作成

若手公衆衛生医師 勉強会 ▾ ☆

6

東讃保健福祉事務所
先生、先生、先生

おはようございます。失念してしまったため、恐縮ながら伺いたいのですが、次回の勉強会のテーマ（予習すべき動画）は、決まっていたのでしょうか（個人的には、学会発表のご様子等も、お時間があれば、来年に向けて伺わせていただければ勉強になると存じます）。ご教示いただけますと幸いです。☀

08:35

西讃保健福祉事務所 副主幹

おはようございます。
確かに、このチャットで相談しませうとして解散しておりました。
前回は、1～7の基本プログラムの
3健康政策、であったので、、
最近、看護の学生さん向けに講義した内容だと2、公衆衛生・行政の仕組みあたりだと小生も担当できそうです！

08:45

西讃保健福祉事務所 副主幹

kihon_160606.pdf
pdf 122.7KB

08:49

③ 香川県での指導の現状（月1回の勉強会）

月1回：もともと開催していた保健行政従事医師連絡会の開始1時間前から勉強会 2023.11月～
第1水曜日 14:00～15:00



③ 香川県での指導の現状（月1回の勉強会）

内容：試験勉強も兼ねて、e-ラーニングの基本プログラムを順番に見てきて教えあう

The screenshot displays the website for the '社会医学系eラーニングコンソーシアム' (Social Medicine e-Learning Consortium). The page features a navigation menu on the left, a search bar, and a grid of six e-learning program thumbnails. Each thumbnail includes the title, speaker's name, and the organizing institution (香川県立香川大学 社会医学系専門医協会).

社会医学系eラーニングコンソーシアム

ログアウト

基本プログラム

メニュー

- ホーム
- 視聴履歴
- カテゴリー
 - 健康危機管理 11
 - 行動科学・心の健康 41
 - 保健医療政策 52
 - 環境・産業保健 38
 - 組織経営・管理 13
 - 疫学・医学統計学 44
 - 公衆衛生総論 33
 - 地域保健・まちづくり 79
 - 国際保健 1
 - その他 8
 - 共通講習 1
- 新着情報
- よくある質問

1 2 3 4/4

【基本プログラム_公衆衛生総論】笹原賢司_地域の公衆衛生課題とその解決

【基本プログラム_公衆衛生総論】小林廣毅_健康政策論

【基本プログラム_公衆衛生総論】曾根智史_歴史から見た公衆衛生行政

【基本プログラム_公衆衛生総論】中村桂子_グローバルヘルス

【基本プログラム_公衆衛生総論】山縣然太郎_公衆衛生研究概論

【基本プログラム_公衆衛生総論】今中雄一_公衆衛生活動における医師の役割と人材開発

医療

香川大学医学部公衆衛生学



香川大学医学部附属病院

安全管理部、医療情報部、感染制御部



産業

香川大学医学部公衆衛生学、衛生学の指導医が産業医をしている企業
県の指導医が産業医をしている県の機関

職場巡視、衛生委員会の出席



**社会に貢献する専門医を養成し、
多世代・生涯にわたる社会医学の
発展に寄与する**

